

日高地区 教育経営研究会

今年度の日高地区教育経営・法制研修会は、新型コロナウイルスの感染状況の悪化により教育経営研究会を中止とし、法制研修会については「日高地区校長会課題別研修会兼法制研究会」として開催した。

- 1 目的 教育経営並びに法制上の諸問題について研究協議を行い、管内の学校経営の充実・発展に資する。
- 2 主催 日高地区校長会
- 3 後援 北海道教育庁日高教育局 日高管内教育委員会連絡協議会 新ひだか町教育委員会
- 4 日時 令和3年9月1日（水）10：00～14：20
- 5 会場 各自各校よりオンライン(ZOOM)による参加
- 6 参加者 日高管内小中学校長会員他(43名)
- 7 日程
9：45～10：00 受付
10：00～10：10 開会式
10：10～12：00 講話 1
13：00～14：00 講話 2
14：00～14：10 質疑
14：10～14：20 閉会式

8 講話

講話 1

講師 北海道教育庁日高教育局 局長 小原直哉様

テーマ 日高管内の特別支援教育の充実に向けて

概要

- 1 特別支援教育の推進
 - (1)特別支援教育の理念
 - (2)特別支援教育の対象
 - (3)障がいのある児童生徒の就学先決定について
 - (4)「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」について
 - (5)体制の整備及び必要な取組（心理検査の活用方法、合理的配慮）
- 2 特別支援学校における教育
 - (1)本道の特別支援学校数・児童生徒数の推移
 - (2)政令で定める各種別の障害の程度について
- 3 小・中学校等における特別支援教育
 - (1)本道の特別支援学級児童生徒数の推移
 - (2)特別支援学級の対象となる障害の程度について
- 4 「個別の指導計画」と「個別の教育支援計画」の作成と活用
 - (1)障害への配慮と個別最適な学び
 - (2)個別の指導計画の作成及び個別の教育支援計画の活用
- 5 交流及び共同学習
○交流及び共同学習の実施上の配慮
- 6 高等学校における特別支援教育
○高等学校における通級による指導
- 7 まとめ
○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、学校運営又は日常の職務遂行における自身の取組について
⇒児童生徒を最大限伸ばさせることのできる学校に

【参加者の感想より】

- 特別支援教育に関する研修は教職員の児童理解・保護者理解の向上という点においても重要と感じる。演習を行うことでより課題意識を高めることができた。
- 自閉症と情緒障がいの子どもの数が増えてきている昨今、校長としてしっかりと特別支援教育について学び直さなければならないことがたくさんあると感じた。

講話 2

講師

学びのネットワーク 代表 三井 哲 様

(北海道教育大学札幌校教育実践コーディネーター)

テーマ
概要

「共同的な学び」を進めるうえでの校長の役割

1 学びの共同体をつくること

…校長は、ダブルループでこれまでの前例や慣例、カリキュラムや授業を見直して、自校ではどのようにして授業改革を中心にした学校づくりをするかを考える。

2 教師を育てる

…教師が育つシステムを整える。(教師が学び合う時間と場づくり・教師の学び合いが促進する学校体制や学校組織をつくる)

3 教師に寄り添う

…全ての児童生徒の学びを実現するために、教師一人一人の卓越性を尊重し、その教師らしい授業づくりを支える同僚・校長に。

4 子どもと向き合う時間の確保

…職員朝会の廃止等、会議の精選とコンパクト化

5 毎年全学年学級編制替え

…毎年、全学級が新たな関係づくり・学級づくりを進める。

→色々な人との出会いによる多様性の経験・子どもが頼れる教師が増える、等

6 先進校の授業から学ぶ

…体験を通して学ぶ・参加した職員は学んだことを積極的に話題にする。

7 スーパーバイザーと繋ぐ

…授業改革・学校改革の方向性や改善策を学ぶ(学校改革の主体者は教師と校長)

8 校長のリーダーシップ

…大切なことはリーダーシップの質を上げること

→それぞれの学校の学校改革のビジョンを職員と共有する

教師一人一人の成長を支えること

【参加者の感想より】

- 学びの共同体の推進において、“教師を育てる” “教師に寄り添う” “子どもと向き合う時間確保” 等、校長の姿勢や為すべきことについて学ぶことができたのは大きな収穫だった。
- 組織を活性化するためには動機が必要で、それを引き出すための学校経営について学べたと思う。